

資料提供年月日	平成26年9月30日	
問い合わせ先	課名	事業政策課
	電話	直通 803-1042 内線 3592
担当者	職名・氏名	課長代理 赤坂
	職名・氏名	主査 中島

# 広 報 連 絡

<市長定例記者会見資料>

## 1. 件 名

「岡山未来づくりプロジェクト Imagineering」の開催について

## 2. 内 容

歴史まちづくり回遊社会実験「岡山未来づくりプロジェクト」のうち、現代アート「石川コレクション」の作品展「Imagineering OKAYAMA ART PROJECT」の実施内容をお知らせします。

### (1) 開催期間

11月2日～12月25日

### (2) 開催場所と展示作品

メイン会場 岡山城本丸（烏城公園） 5作品

※天守閣前広場と中の段の展示は、片山正通氏監修によるステージにて行います。

サブ会場 岡山後楽館天神校舎跡地 7作品

柳川ロータリービル 4作品

その他 4作品

# IMAGINEERING



IMAGINEERING  
OKAYAMA ART PROJECT  
NOV.2,2014 \_ DEC.25,2014



街が美術館となり、  
散歩がアートとの出会いになる。

「Imagineering」それは、想像し、創造すること。  
歴史的文化資産である岡山城とその周辺を中心に、  
国内外から注目を集めるアートコレクション「石川コレクション」を展示し、  
日常の中に芽生える、アートとの出会いを通じて、  
家族や子どもたち、市民ひとりひとりが想像し、  
創造できる場を生み出していきます。  
さらには本コンテンツを軸として、  
都市部から人々が瀬戸内地域を訪れる際に、  
岡山市がその導線の中心になり、  
瀬戸内のハブになるきっかけになればと考えています。

**Imagineering OKAYAMA ART PROJECT**

開催期間 2014年11月2日[日]ー12月25日[木]  
開催時間 10:00ー18:00 ※11月4日ー16日の期間は20:30まで(岡山城会場)  
開催場所 岡山城／後楽館天神校舎跡地／柳川ロータリービル／市内各所

主催／岡山市 共催／Imagineering製作委員会  
〒700-8544 岡山市北区大浜1丁目1番1号 TEL:085-803-1042(岡山市 事業政策課)  
URL:[okayama-mirai.jp/imagineering/](http://okayama-mirai.jp/imagineering/)

プレスお問い合わせ先／Imagineering事務局  
〒700-0821 岡山県岡山市北区中山下1丁目1番1号  
MAIL:[imagineering@okayama-mirai.jp](mailto:imagineering@okayama-mirai.jp)

IMAGINEERING

# Artists and Works



岡山城会場



柳川ロータリービル



後楽館天神校舎跡地



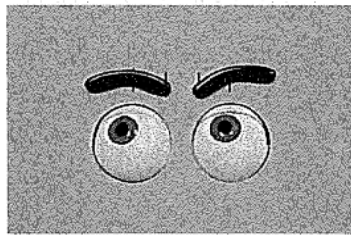
その他会場

## Ryan Gander

ライアン・ガンダー



©Ryan Gander  
Photo: Nathan Peck  
Courtesy of TARO NASU



©Ryan Gander / Courtesy of TARO NASU  
Photo: Martin Argyroglo

### Magnus Opus



壁に埋め込まれた一対の眼球と眉が人感知センサーによって鑑賞者の動きに反応するインタラクティブな作品。美術鑑賞の場での鑑賞者と作品との関係、すなわち能動性と受動性の逆転や、その先にある双方向性への模索を提案する。



© Ryan Gander / Courtesy of TARO NASU  
Photo: Kelzo Kioku

### Imagineering



コマーシャルフィルムの枠組みを借りた映像作品。英国の省庁が公共広告映像の制作を委託したという体裁をとるが、実際には委託事業は存在しない。文化予算削減への批判と不満を背景に、「想像力のエネルギーで世界をより良いものに」というメッセージをも謳っている。



©Ryan Gander / Courtesy of TARO NASU

### Make everything like it's your last (Charlotte)



同作家映像作品「Imagineering」より派生したポスター作品。作品は一般の商業広告と混在するように市内の各所に展示される。

国内初展示



© Ryan Gander  
Courtesy of TARO NASU

### Make everything like it's your last (Maya)



同作家映像作品「Imagineering」より派生したポストカード型の作品。店舗や公共施設の一角に乱雑に積み重ねられ、鑑賞者はポストカードを持ち帰ることができる。

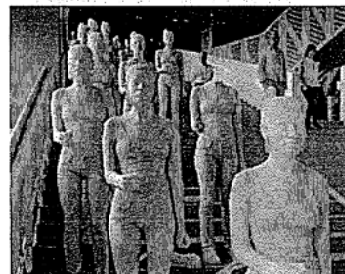
## Simon Fujiwara

サイモン・フジワラ



©Simon Fujiwara  
Photo: Carla Vereia, 2010  
Courtesy of TARO NASU

国内初展示



©Simon Fujiwara / Courtesy of TARO NASU

### Rebekkah, (An Education)



フジワラは物語性の強いインストレーションで高い評価を受ける作家。100体の彫像からなる本作品は、社会構造に言及した現代の兵馬俑ともいうべきもので、フジワラの個性がいかに発揮されている。



©Simon Fujiwara / Courtesy of TARO NASU

### Artist's Book Club: Hakuruberri Fuin No Monogatari



テレビのインタビュー番組という体裁をとった映像作品。フジワラが自分自身を演じながら、マーク・トウェインの小説「ハックルベリー・フィンの冒険」を通じて人種差別の問題をユーモラスかつ鋭くついた意欲作である。



©Simon Fujiwara / Courtesy of TARO NASU

### Art Worlds: Mex in the City



Artist's Book Clubに続き、フジワラ自身が偽のフジワラを演じるテレビ番組形式の映像作品。現実と虚構の境界線を曖昧にすることで物事の本質に迫ろうとする、フジワラの独特の演劇的手法が発揮されている。

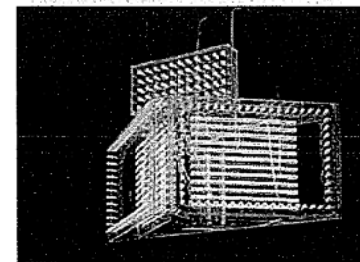
## Philippe Parreno

フィリップ・パレノ



©Philippe Parreno 2012  
Photo: Claudio Cassano  
Courtesy of Esther Schipper

国内初展示



参考画像 ©Philippe Parreno / Photo: Andrea Rpselletti

### Marquee



マーキーとは、劇場の入口などに設置される電飾付きのひざしのこと。「注目を促すための存

在であったものが、注目するという行為の対象になったとしたら？」という考察のもと生まれた作品シリーズのひとつ。

## Douglas Gordon

ダグラス・ゴードン



©Douglas Gordon  
Photo: Marc Lillius  
Courtesy of  
Galerie Eva Presenhuber AG

国内初展示



©Studio lost but found / VG Bild-Kunst, Bonn 2013  
Photo Studio lost but found / Frederik Pedersen

Pretty Much Every Film  
and Video Work From  
About 1992 Until Now



本作品は1992年以降に発表された映像82点全てを、101のテレビモニターとDVDプレーヤー、そしてビールケースを用いて映し出すもの。アーカイブやセルフポートレイトの概念とも関わるインスタレーション。

## Martin Creed

マーティン・クリード



©Martin Creed  
Photo: Hugo Glendinning  
Courtesy of Hauser & Wirth

国内初展示



©Martin Creed / Courtesy the artist, Hauser & Wirth and Gavin Brown's enterprise

Work No. 201 Half  
the air in a given space



イギリス生まれのクリードは機知に富んだ作風で知られる。風船を用いて目にみえない空気を可視化しようとする本作品は、わずかに視点を変えることで新しい世界観が獲得できることを鑑賞者に伝えている。

## Mircea Cantor

ミルチャ・カントール



©Mircea Cantor  
Photo: Gabriela Vanga, 2013  
Courtesy of Yvon Lambert



©Mircea Cantor / Courtesy of Yvon Lambert, Paris

I decided not  
to save the world



政治的、思想的メッセージをかるやかに表現するカントール。言葉の意味を理解しないまま「僕は世界を救わないことにした」と繰り返す子供の姿に、我々は選択や行動が深い理解なしに行われる可能性の恐怖を再確認する。

## Rirkrit Tiravanija

リクリット・ティラヴァーニャ



©Rirkrit Tiravanija  
Photo: Antoinette Aurell  
Courtesy of  
Gavin Brown Enterprise

国内初展示



©Mircea Cantor / Courtesy of Yvon Lambert, Paris

untitled 2012  
(who if not we should  
at least try to imagine  
the future, again)  
(remember Julius Koller)



ティラヴァーニャは観客とのコミュニケーションを重視するリレーショナル・アートの代表的な作家。14台(今回は12台)の卓球台を使って、卓球をすることで鑑賞者と鑑賞の対象物である作品との境界はあいまいになっていく。

## Peter Fischli & David Weiss

ペーター・フィッシュリ & デヴィッド・ヴァイス



©David Weiss and  
Peter Fischli, Zürich  
Photo: Walter Pfeiffer  
Courtesy of Spruth Magers  
Berlin London



©Peter Fischli David Weiss, Zurich 2014  
Courtesy of Tokyo Opera City Art Gallery / Photo: Keizo Kioku

Untitled  
(Question projection, big)



些細なものから哲学的なものまで様々な問いが4カ国語の文字によって浮かんで消える映像作品。平易な言葉で世界の意味や人間存在について問いかける。この作品が発表された2003年に、2人は第50回ヴェニス・ビエンナーレにて、金獅子賞を受賞した。



©Peter Fischli David Weiss, Zurich 2014  
Courtesy of Spruth Magers Berlin London, Matthew Marks Gallery, New York, Galerie Eva Presenhuber, Zurich

Busi



ブラウン管テレビに映し出される猫は、皿の中のミルクをなめ続ける。鑑賞者が無意識に持つ「この先に何か起こるかもしれない」という期待を裏切り続ける意識的な退屈さと、単純な生の喜びと輝きとが画面内に併存する。



©Peter Fischli David Weiss, Zurich 2014  
Courtesy of Spruth Magers Berlin London, Matthew Marks Gallery, New York, Galerie Eva Presenhuber, Zurich

Hunde



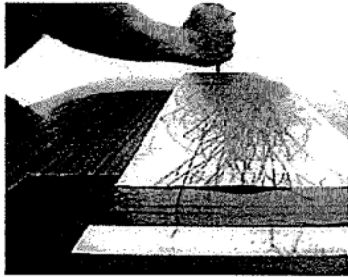
柵越しに、一点を凝視する犬の映像作品。視線の先には、何か動いているらしい。ひたすらに犬の表情を映し続ける作品構成は、同作家作品「Busi」に共通する。特定の感情移入を巧みに避けながら、答えのない問いを投げかける。

## Meiro Koizumi

小泉明朗



©Meiro Koizumi  
Courtesy of  
Annet Gelink Gallery



©Meiro Koizumi / Courtesy of Annet Gelink Gallery

### Untitled



小泉の関心のひとつに人間に潜む暴力性があげられよう。「蛍の光」を口笛で吹きながら、荒々しく鉛筆を紙にこすりつける様子が激しい音と共に映し出される本作は彼の初期作。叙情性と暴力性という相矛盾する要素の融合が彼の個性を表している。

## Shimabuku

島袋道浩



©Shimabuku  
Photo: Yuya Suzuki  
Courtesy of the Artist



©Shimabuku / Courtesy of the artist

### 白鳥、海へゆく



白鳥の形を模した足漕ぎボート。周囲の風景を楽しむべく作られたこのボートで、穏やかな河から、想定外の活動領域である瀬戸内海を目指そうとする、その意識的に無謀ともいえる行程をおさめた映像作品。

## Liam Gillick

リアム・ギリック



©Liam Gillick  
Photo: Andrea Stappert  
Courtesy of Esther Schipper,  
TARO NASU

## The anyspace whatever...

©Liam Gillick / Courtesy of TARO NASU / Photo: Keizo Kiku

the anyspace whatever



「任意空間」はドゥルーズの著作「シネマ1\*運動イメージ」から引用された言葉で、何らかの決定がなされる以前の潜在的で創造的な空間のことである。壁の平面的テキストは、鑑賞者に「過程」や「間」についての考察を促す。

## Anri Sala

アンリ・サラ



©Anri Sala  
Photo: Marc Domage  
Courtesy of Johnen Galerie

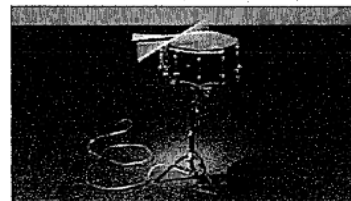


©Anri Sala / Courtesy of Johnen Galerie, Berlin

### Answerme



サラは音を効果的に使用した映像で高い評価を受ける作家である。本作品はコミュニケーションとディスコミュニケーションをテーマに、謎めいた女性のセリフが男性の激しく叩くドラムの音にかき消される様子が映し出される。



©Anri Sala / Courtesy of Johnen Galerie, Berlin / Photo: Sylvain Delau

### Another Solo in the Doldrums



サラの映像作品「Answer Me」とセットともい

える立体作品。振動によってドラムのパチが動く仕掛けで、鑑賞者はどこかで発せられている問いかけの内容を知ることのないまま、言葉にならない答えを「見る」ことになる。

## IMAGINEERING

# Project Member



### 石川康晴

Imagineering OKAYAMA ART PROJECT 代表  
株式会社クロスカンパニー 代表取締役社長



### 片山正道

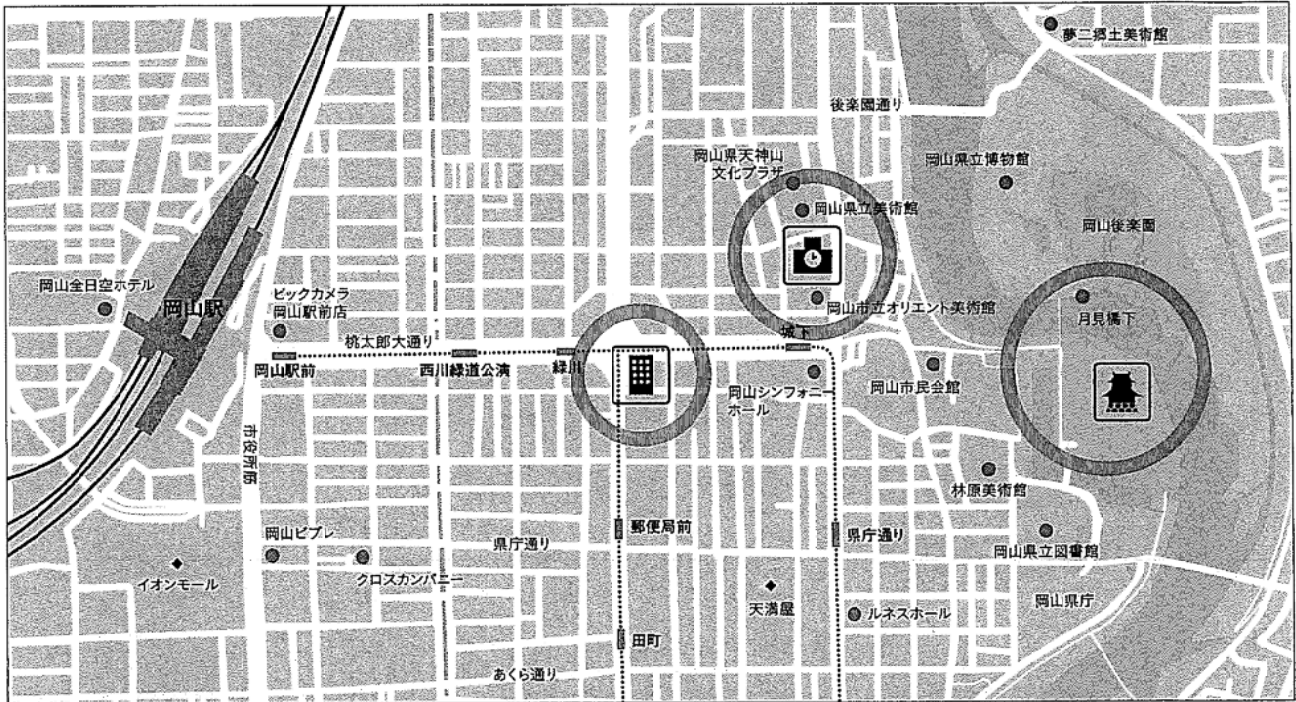
アドバイザリー/エキシビション・スペース・デザイン  
株式会社ワンダーウォール 代表  
武蔵野美術大学(空間演出デザイン学科)教授



### 那須太郎

アートアドバイザー  
TARO NASU 代表/ギャラリスト

# 会場情報+アクセス



## 岡山城会場

岡山市北区丸の内2丁目3番1号



- 岡山電気軌道東山本線〔城下〕下車徒歩10分
- 岡電バス・岡備バス・宇野バス〔県庁前〕下車徒歩3分
- ももちゃり〔岡山駅東口サイクルポート〕より〔県立図書館前〕降車徒歩5分



## 後楽館天神校舎跡地

岡山市北区天神町9番24号



- 岡山電気軌道東山本線〔城下〕下車徒歩3分
- 岡電バス〔天神〕下車
- 宇野バス〔表町入口〕下車徒歩3分
- ももちゃり〔岡山駅東口サイクルポート〕より〔天神町〕降車



## 柳川ロータリービル

岡山市北区中山下1丁目1番1号



- 岡山電気軌道東山本線・清輝橋線〔柳川〕下車
- 岡電バス〔柳川西〕下車徒歩3分
- 宇野バス〔柳川〕下車
- ももちゃり〔岡山駅東口サイクルポート〕より〔柳川交差点〕降車
- 岡山駅東口より徒歩8分

## 岡山カルチャーゾーン周辺施設案内



### 岡山後楽園

岡山市北区後楽園1番5号

開館：8:00-17:00(入館は16:45まで)  
休館：年中無休



### ルネスホール

岡山市北区内山下1丁目6番20号

開館：10:00-19:00  
休館：火曜日  
(火曜が祝日又は振替休日の場合は翌日)



### 岡山県立美術館

岡山市北区天神町8番48号

開館：9:00-17:00  
(入館は16:30まで)  
休館：月曜日、展示替期間(不定期)



### 林原美術館

岡山市北区丸の内2丁目7番15号

開館：9:00-17:00  
休館：展示替期間(不定期)  
年末年始(12/25-1/5)



### 岡山後楽園

岡山市北区後楽園1番5号

開館：9:30-17:00  
休館：月曜日  
(月曜が祝日及び振替休日の場合は翌日)



### 岡山シンフォニーホール

岡山市北区表町1丁目5番1号

開館：9:00-22:00  
休館：第2-4 火曜日  
(火曜が祝日及び振替休日の場合は翌日)



### 岡山県天神山文化プラザ

岡山市北区天神町8番54号

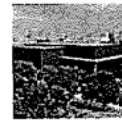
開館：9:00-18:00  
休館：月曜日



### 夢二郷土美術館

岡山市中区浜2丁目1番32号

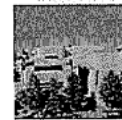
開館：9:00-17:00(入館は16:30まで)  
休館：月曜日  
(月曜が祝日及び振替休日の場合は翌日)



### 岡山県立図書館

岡山市北区丸の内2丁目6番30号

開館：9:00-9:00(土日祝日は10:00-18:00)  
休館：月曜日、整理期間  
(月曜が祝日又は振替休日の場合は翌日)



### 岡山市立オリент美術館

岡山市北区天神町9番31号

開館：9:00-17:00(入館は16:30まで)  
休館：月曜日、展示替期間(不定期)  
(月曜が祝日及び振替休日の場合は翌日)



### 岡山市民会館

岡山市北区丸の内2丁目1番1号

開館：9:00-22:00  
休館：年末年始

okayama-mirai.jp

